

令和4年度

シラバス

(年間指導計画)

静岡県東部総合美容専門学校

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

実務経験のある教員等による授業科目一覧表

(衛生専門課程美容学科) 令和4年度															
分類			授業科目	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			関係法規・制度	衛生行政・美容師法など美容師と関係法規について学ぶ	1.2通	31	1	○			○		○		
○			衛生管理	公衆衛生・環境衛生・感染症・消毒法などについて学ぶ	1.2通	93	3	○			○		○		
○			美容保健	人体の構造及び機能、皮膚科学、疾患について学ぶ	1.2通	93	3	○			○		○		
○			美容文化論	美容の歴史、美容デザインについて学ぶ	1.2通	62	2	○			○		○		
○			美容技術理論	美容の基礎的理論から様々な美容についての目的や注意点などを学ぶ。	1.2通	155	5	○			○		○		
○			運営管理	サロン経営に必要な接客技術、労務管理、マーケティングなどを学ぶ	2通	31	1	○			○		○	○	
○			美容実習	シャンプー、カット、ワインディングなど美容師として必要な基礎的技術からメイク、ネイル、着付けなど総合技術を習得する。サロンワークの流れを知る	1.2通	930	30			○	○	○	○	○	
	○		美術	パーソナルカラーの理解、スタイル画を学ぶ	1.2通	124	4	○	○		○		○	○	
	○		栄養理論	健康や美を保つための栄養素について基本を学ぶ	1通	62	2	○			○		○		
	○		美容教養基礎	接客用語、所作、マナーを基礎から学ぶ	1.2通	62	2	○	○		○		○	○	
	○		エステ/着付	エステティック概論、フェイシャルエステ基礎技術の習得、着付け概論から、浴衣、留袖を着せられる技術を習得	1通	62	2	○		○	○		○		
	○		総合技術	基礎的セット技術の習得、ヘアケアマイスター、福祉美容について学ぶ	1通	62	2	○		○	○		○	○	
	○		総合技術ABCDEコース	より深く学習したい、専門的な技術を身につけたいコースを5コースの中から選び、コース別に行われる授業で技術の習得を目指す	2通	124	4	○		○	○		○	○	
	○		選択S	ワインディング、オールウェーブ、コンクール対策として技術を習得	2通	62	2	○		○	○		○	○	
合計			14科目		1953単位時間(63単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
各学年において、本校の規定している必修科目及び選択必修科目の授業を履修し、学科・実技全ての試験に合格していること。	1学年の学期区分	3期
	1学期の授業期間	18週

昼間課程教育課程及び授業時数

昼間課程教育課程及び授業時数(2年生用)

(衛生専門課程美容学科)

	課 目	標準時数 (2か年)	学校授業時数(2か年)			備 考		
			1年	2年	計			
必修 課 目	関係法規・制度	30		31	31			
	衛生管理	90	62	31	93			
	保健	90	62	31	93			
	化粧品化学	60	31	31	62			
	文化論	60	31	31	62			
	美容技術理論	150	93	62	155			
	運営管理	30		31	31			
	美容実習	900	451	479	930			
	計	1410	730	727	1457			
	学校選択課目名	標準時数	1年	2年	計	備 考		
選 択 課 目	美術・デッサン	600	76	48	124			
	美容教養基礎		62	62	124			
	栄養理論		62		62			
	エステティック		62		62			
	総 合 技 術		62	124	186	62	選択	A ヘアメイクコース
	選 択 B						B ネイルコース	
	選 択 C						C ブライダルコース	
	選 択 D						D エステティックコース	
	選 択 E						E アイラッシュコース	
選 択 S		62	62	必修	ラインディング、ホールウェーブセッティング			
計	600	324	296	620				
合 計	2010	1054	1023	2077				

昼間課程教育課程及び授業時数(1年生用)

【昼間課程美容学科】令和4年度

	課 目	標準時数 (2か年)	学校授業時数(2か年)			備 考				
			1年	2年	計					
必修 課 目	関係法規・制度	30	31		31					
	衛生管理	90	31	62	93					
	保健	90	62	31	93					
	化粧品化学	60	31	31	62					
	文化論	60	31	31	62					
	美容技術理論	150	93	62	155					
	運営管理	30		31	31					
	美容実習	900	451	479	930					
	計	1410	730	727	1457					
	学校選択課目名	標準時数	1年	2年	計	備 考				
選 択 課 目	美術・デッサン	600	76	48	124					
	美容教養基礎		62	62	124					
	栄養理論		62		62					
	エステティック・着付		62		62					
	総 合 技 術		62	62	124	186	選択			
	選 択 A									Aヘアメイクコース
	選 択 B									Bネイルコース
	選 択 C									Cブライダルコース
	選 択 D									Dエステティックコース
選 択 E				Eアイラッシュコース						
選 択 S		62		62	必修 ワインディング、ホルウェーブセッティング					
計	600	324	296	620						
合 計	2010	1054	1023	2077						

年間指導計画(シラバス)

教科名		対象学年	開講学期	区分
関係法規・制度		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
加瀬川 和夫			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
有	法学部卒業後、美容師としてサロン活動に従事し、美容組合に携わり、美容法規にもとづくサロン指導を行っている。			
指導目標				
社会における法制度の意義と美容師として遵守すべき美容師法を理解し、国家試験合格を目指す。				
評価方法				
定期試験の他に、ワークシートの完成、授業へ積極性を考慮し、総合的に判断する。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第1章 法制度の概要	社会規範と法制度の概説	4	
	法の形式	憲法と法律・命令・条例の関係についての概説		
5	第2章 衛生行政の概要	衛生法規の体系の解説	4	
	衛生を担う行政機関	保健所の業務内容の解説		
6	第3章 美容師法	美容師法の目的の概説	3	
	美容師法の体系	憲法の理念と美容師法の関係についての解説		
7	美容の定義	法律用語としての美容の意味の解説	2	
	美容師とは何か	美容師の定義とその資格の解説		
9	美容師養成施設	美容師養成施設の役割の解説	4	
	美容師の免許と登録	美容師免許と登録制度の解説		
10	管理美容師	管理美容師の資格とその責務の紹介	3	
	美容師の義務	美容師の業務上の義務の解説		
	美容所の開設	開設時に届け出をする諸事項の解説		
11	開設者が講ずべき衛生措置	開設者の義務の紹介	3	
	美容所以外での義務	美容を行う場所の開設		
12	立ち入り監査	立ち入り検査への対応についての解説	2	
	違反者に対する行政処分	各行政処分に関する解説		
1	罰則	美容師法第18条の詳説	3	
	第4章 関連法規	生衛法の解説		
	美容組合	美容組合に関する解説		
2	地域保健法	保健所と美容所の関わりについての解説	3	
	労働法	開設者または従業員としての心構えの解説		
		時数合計	31	
教科書	関係法規・制度			
使用教材	教科書、授業ごとに配布するワークシート			
留意点	各種規範の社会的背景も理解すること			

教科名		対象学年	開講学期	区分
関係法規・制度		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
加瀬川 和夫			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
有	法学部卒業後、美容師としてサロン活動に従事し、美容組合に携わり、美容法規にもとづくサロン指導を行っている。			
指導目標				
社会における法制度の意義と美容師として遵守すべき美容師法を理解し、国家試験合格を目指す。				
評価方法				
定期試験の他に、ワークシートの完成、授業へ積極性を考慮し、総合的に判断する。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第1章 法制度の概要	社会規範と法制度の概説	4	
	法の形式	憲法と法律・命令・条例の関係についての概説		
5	第2章 衛生行政の概要	衛生法規の体系の解説	4	
	衛生を担う行政機関	保健所の業務内容の解説		
6	第3章 美容師法	美容師法の目的の概説	3	
	美容師法の体系	憲法の理念と美容師法の関係についての解説		
7	美容の定義	法律用語としての美容の意味の解説	2	
	美容師とは何か	美容師の定義とその資格の解説		
9	美容師養成施設	美容師養成施設の役割の解説	4	
	美容師の免許と登録	美容師免許と登録制度の解説		
10	管理美容師	管理美容師の資格とその責務の紹介	3	
	美容師の義務	美容師の業務上の義務の解説		
	美容所の開設	開設時に届け出をする諸事項の解説		
11	開設者が講ずべき衛生措置	開設者の義務の紹介	3	
	美容所以外での義務	美容を行う場所の開設		
12	立ち入り監査	立ち入り検査への対応についての解説	2	
	違反者に対する行政処分	各行政処分に関する解説		
1	罰則	美容師法第18条の詳説	3	
	第4章 関連法規	生衛法の解説		
	美容組合	美容組合に関する解説		
2	地域保健法	保健所と美容所の関わりについての解説	3	
	労働法	開設者または従業員としての心構えの解説		
		時数合計	31	
教科書	関係法規・制度			
使用教材	教科書、授業ごとに配布するワークシート			
留意点	令和4年度より1年生に移行する。各種規範の社会的背景も理解すること			

教科名		対象学年	開講学期	区分
衛生管理		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
加瀬川 和夫			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
有	現役美容師として永年従事し、また美容組合で衛生指導に携わっている経験を活かし、美容室における消毒の意義、実践方法を習得できるように指導する			
指導目標				
美容所における消毒の意義を理解し、国家試験合格を目指す。				
評価方法				
定期試験の他、出席率、授業への積極性を加味して、総合的に判断する。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第4編衛生管理技術	消毒の概説	3	
	消毒に関する法規	消毒に関する法規の紹介		
	消毒法の種類	消毒法の種類の紹介		
5	理学的消毒法	理学的消毒法の解説	2	
	化学的消毒法	化学的消毒法の解説		
6	希釈法	水溶液の作り方の解説	3	
	器具の種類と消毒法	適性な消毒方法の選択		
7	第5編衛生管理の実践例	具体的な衛生管理技術の詳解	2	
9	公衆衛生の総復習	公衆衛生の重要事項の確認	4	
10	環境衛生の総復習	環境衛生の重要事項の確認	3	
11	感染症総論	感染症総論の重要事項の確認	4	
	感染症各論	感染症各論の重要事項の確認		
12	消毒法総論	消毒法の総論の重要事項の確認	3	
	希釈法	希釈するための計算練習		
1	国家試験対策	公衆衛生関連の過去問題の傾向と対策	3	
		公衆衛生関連問題の要点整理		
		環境衛生関連の過去問題の傾向と対策		
		環境衛生関連問題の要点整理		
		感染症関連の過去問題の傾向と対策		
2		感染症関連問題の要点整理	4	
		消毒法関連の過去問題の傾向と対策		
		消毒法関連問題の要点整理		
		模擬問題を使った演習		
		時数合計	31	
教科書	衛生管理			
使用教材	授業ごとに配布するワークシート			
留意点	国家試験対策も随時行う。			

教科名		対象学年	開講学期	区分
衛生管理		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
加瀬川 和夫			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
有	現役美容師として永年従事し、また美容組合で衛生指導に携わっている経験を活かし、美容所における消毒の意義、実践方法を習得できるように指導する			
指導目標				
美容所における消毒の意義を理解し、その実践方法を習得させる。				
評価方法				
定期試験の他、出席率、授業への積極性を加味して、総合的に判断する。				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4	第1編 公衆衛生	公衆衛生の概要		3
		公衆衛生の歴史	公衆衛生の歴史的経緯と発展の紹介	
		消毒法の歴史	消毒法の発展とその効用を理解する	
5	美容師と公衆衛生	美容業と公衆衛生の意義について理解する		3
		保健所と美容業	保健所の業務内容の解説	
		母子保健	母子保健の意義の理解	
6	成人・高齢者保健	日本人の健康について理解する		3
		介護保険制度	介護保険制度の概要を理解する	
		精神保健	精神保健の目的を理解する	
7	第2編 環境衛生	環境基準の紹介		3
		生活環境	快適な衣食住の条件を理解する	
			上下水道のあり方の概説	
9	廃棄物	美容所から出る廃棄物の扱い方		4
		衛生害虫	美容業と関わる害虫がもたらす感染症を知る	
	第3編 感染症	感染症の概説		
10	感染症の分類	感染症の取り扱い方		3
		病原微生物	病原微生物の性質に関する解説	
11	感染症の予防	予防手段の解説		2
		感染症法	1～5類感染症の詳説	
12	病原微生物	細菌とウイルスの構造を知る		4
		感染症の予防	概念用語の説明	
1	感染症各論	具体的な感染症の詳説		4
2	具体的な対策の例	美容所での消毒作業を知る		2
			時数合計	31
教科書	衛生管理			
使用教材	教科書、授業ごとに配布するワークシート			
留意点	消毒が実際のサロンワークとしてイメージできるようにすること			

教科名		対象学年	開講学期	区分
保健		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
鈴木 直子			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
有	薬剤師として 健康について総合的に患者の相談に応じアドバイスをしている			
指導目標				
人体の構造及び機能 皮膚科学を学ぶことにより 表面的な美を追求するだけでなく 健康と美の結びつきの重要性を理解し 実践できる美容師の育成に努める。また 早期より国家試験の問題を数多く解くことによって 国家試験合格にむけての基礎を修得させる。				
評価方法				
期末試験 提出物の内容などから学期毎評価し、60点以上を合格とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4	第2編 皮膚科学	第6章 皮膚及び付属器官の疾患③④⑤		4
5		皮膚及び付属器官の疾患⑥⑦⑧ 皮膚疾患総合問題		3
6		期末テスト対策		4
7		期末テスト 解説		1
9	第1編	国家試験対策NO. 1～3 復習と問題解説		4
10	人体の構造と機能	国家試験対策NO. 4～6 復習と問題解説		3
		国家試験対策NO. 7～8 復習と問題解説		
11		期末テスト対策 期末テスト		2
		国家試験対策NO. 9 解説		
12		国家試験対策No. 10～13 国試過去問		4
1		国家試験対策NO. 14～17 国試過去問		3
2		期末テスト		2
		期末テスト 解説		
		国家試験対策ファイナル 人体の構造と機能		
		国家試験対策 ファイナル 皮膚科学		
3		国家試験対策 国家試験想問題		1
		時数合計		31
教科書	日本理容美容教育センター 発行の 『美容保健』			
使用教材	各章ごとに制作した重要事項のまとめワークシートと練習問題 国家試験対策ワークシート			
留意点	多くの過去問題や演習問題を解くことにより 苦手な部分を発見し克服させる			

教科名		対象学年	開講学期	区分
保健		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
鈴木 直子			講義	62(2)
実務経験	実務経験内容			
有	薬剤師として 服薬指導をし 健康について総合的に患者の相談に応じアドバイスをしている			
指導目標				
人体の構造及び機能 皮膚科学を学ぶことにより 表面的な美を追求するだけでなく 健康と美の結びつきの重要性を理解し 実践できる美容師の育成に努める。また 早期より国家試験の問題を数多く解くことによって 国家試験合格にむけての基礎を修得させる。				
評価方法				
期末試験、提出物の内容などから学期毎評価し、60点以上を合格とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4	第1編 人体の構造 および機能	第1章 頭部頸部体表の解剖学	国試問題演習	6
5		第2章 骨格器系①		
		第2章 骨格器系②	国試過去問演習	8
		第3章 筋系	国試過去問演習	
		第4章 神経系①		
6		第4章 神経系②	国試過去問演習	6
		第5章 感覚器系	国試過去問演習	
7		テスト対策	期末テスト解説	6
8		第6章 血液・循環器系①		2
9		第6章 血液・循環器系②	国試過去問演習	6
		第7章 呼吸器	国試過去問演習	
		第8章 消化器①		
10		第8章 消化器②	国試過去問演習	6
		第1編 人体の構造および機能	総まとめ演習	
11		テスト対策	期末テスト解説	6
	第2編 皮膚科学	第1～4章 皮膚及び付属器官の構造と機能①②		
12		第1～4章 皮膚及び付属器官の構造と機能③		4
1		第1～4章 皮膚及び付属器官の構造と機能④⑤		6
		第5章 皮膚及び付属器官の保健①		
2		第5章 皮膚及び付属器官の保健②	テスト対策	6
		期末テスト	テスト解説	
		第6章 皮膚および皮膚器官の疾患①②		
		時数合計		62
教科書	日本理容美容教育センター 発行の 『美容保健』			
使用教材	各章ごとに制作した重要事項のまとめのワークシートと練習問題			
留意点	各章ごとにワークシートに書き込みをさせることにより理解をさせ 提出させることにより緊張感を保つ			

教科名		対象学年	開講学期	区分		
香粧品化学		2年	通年	必修		
担当教員			授業方法	時間数(単位数)		
石橋 正吉			講義	31(1)		
実務経験	実務経験内容					
無						
指導目標						
香粧品化学についての知識の習得と国家試験合格						
評価方法						
期末試験の他に、レポート提出等、総合的に判断する（60点以上合格）						
授業計画						
月	単元名	指導内容		時数		
4	4章メイクアップ用 香粧品	ベースメイクアップとポイントメイクアップの 種類と剤形の知識の取得		4		
5	5章頭皮・毛髪用香 粧品	シャンプー剤の分類と主成分の理解		4		
		ヘアリンス剤の使い分けと働きや成分の理解				
		ヘアトリートメント剤のはたらきの理解				
		スタイリング剤の分類と特徴の理解				
		パーマの原理とパーマ剤の理解				
6 ・ 7	6章芳香製品と特殊 香粧品	ヘアカラーの種類とメカニズムの理解		5		
		育毛剤の種類と機能原料の理解				
		芳香製品の種類と成分				
		サンケア製品の種類と特徴				
		美白用香粧品のメカニズムの理解				
9 10 11 12 1 2	国家試験対策	制汗防臭剤の成分		4 3 3 2 3 3		
		ニキビ用香粧品成分				
		国家試験過去問演習				
		時数合計	31			
教科書	香粧品化学					
使用教材	ワークブック、国家試験過去問題					
留意点	国家試験、実務に対応できる知識をつける					

教科名		対象学年	開講学期	区分
化粧品化学		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
石橋 正吉			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
無				
指導目標				
化粧品化学についての知識の習得と国家試験合格				
評価方法				
期末試験の他に、レポート提出等、総合的に判断する。(60点以上合格)				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4	1章 化粧品概論	化粧品の社会的意義と品質特性		3
		化粧品の規制		
		化粧品の安全性と取り扱い上の注意		
		化粧品と安全性		
5	基礎化学	1.物質の構成		3
		2.物質の構造		
		3.溶解とコロイド		
		4.イオンと水素イオン指数		
		5.物質の変化と化学反応		
6・7	基礎化学	6.酸化、還元反応		8
		7.たんぱく質		
	2章 化粧品用原料	1.化粧品対象の人体各部		
2.水性原料				
8・9	2章 化粧品用原料	3.油性原料		4
		4.界面活性剤		
10	2章 化粧品用原料	5.高分子化合物		2
7.香料				
11	2章 化粧品用原料	8.その他の配合成分		3
		9.ネイル、まつげエクステンション用材料		
12	3章 基礎化粧品	1.皮膚清浄用化粧品		2
		2.化粧水		
1	3章 基礎化粧品	3.クリーム、乳液		2
		4.その他の基礎化粧品		
2・3		まとめ		4
		時数合計		31
教科書	化粧品化学			
使用教材	ワークブック、国家試験過去問題			
留意点	国家試験、実務に対応できる知識をつける			

教科名	対象学年	開講学期	区分
文化論	2年	通年	必修
担当教員		授業方法	時間数(単位数)
松田 孝子		講義	31(1)
実務経験	実務経験内容		
有	10年以上従事していたサロンワークで芸奴等の独自の美容業務に携わった経験有り。 家業である美容室の変遷を見てきた経験を活かし、髪型など美容業の歴史を理解する科目である		
指導目標			
ファッション文化史日本編、西洋編の流れと礼装の種類を理解し、国家試験合格を目指す			
評価方法			
期末試験・提出物と授業態度などから評価し、60点以上を合格とする。			
授業計画			
月	単元名	指導内容	時数
4	3章ファッション文化史日本編	大正～1970年代	3
5	3章ファッション文化史日本編	1980年代～	3
	4章ファッション文化史西洋編	古代エジプト～古代ゲルマン	
6	4章ファッション文化史西洋編	中世ヨーロッパ～近世Ⅰ(16世紀) 練習問題	4
7	〃	近世Ⅱ(17世紀) 期末試験解説	3
	〃	近世Ⅲ(18世紀)	
9	〃	近代Ⅰ(18世紀末～19世紀初め)	4
		近代Ⅱ(19世紀)	
10		現代Ⅰ(1910年代～1920年代)	3
		現代Ⅱ(1930年代～1940年代前半)	
11		現代Ⅲ(1940年代後半～1950年代) 練習問題	2
		現代Ⅳ(1960年代)	
12		現代Ⅴ(1970年代)	4
		現代Ⅵ(1980年代) 期末試験解説	
1		現代Ⅶ(1990年代～2010年)	3
	5章礼装	和装の礼装 国試対策	
2		洋装の礼装 国試対策	2
		時数合計	31
教科書	文化論、参考資料、授業プリント		
使用教材	DVD		
留意点	期末試験(80点)、提出物・授業態度(20点) 合計100点とする		

	対象学年	開講学期	区分
文化論	1年	通年	必修
担当教員		授業方法	時間数(単位数)
松田 孝子		講義	31(1)
実務経験	実務経験内容		
有	10年以上従事していたサロンワークで芸奴等の独自の美容業務に携わった経験有り。家業である美容室の変遷を見てきた経験を活かし、髪型など美容業の歴史を理解する科目である		
指導目標			
美容の歴史から日本の各時代の髪型・装飾品・服装を学ぶ			
評価方法			
期末試験・提出物と授業態度などから評価し、60点以上を合格とする。			
授業計画			
月	単元名	指導内容	時数
4	1章 2章	総論 日本の理美容業の歴史の発生～江戸時代	3
5	2章 3章	近代・現代の理美容業 ファッション文化史日本編	4
6	〃	ファッション文化史日本編 中世	3
7	〃	期末テスト解説	2
8	〃	ファッション文化史日本編 近世Ⅰ	1
9	〃	ファッション文化史日本編 近世Ⅰ、近世Ⅱ	3
10	〃	ファッション文化史日本編 近世Ⅱ、近代	3
11	〃	ファッション文化史日本編 近代、現代Ⅰ	3
	〃	期末試験解説・提出物確認	
12	〃	ファッション文化史日本編 現代Ⅰ	3
1	〃	ファッション文化史日本編 現代Ⅰ、Ⅱ	3
	〃	練習問題、提出物確認	
2	〃	ファッション文化史日本編 現代Ⅱ	3
		時数合計	31
教科書	文化論、参考資料、授業プリント		
使用教材	DVD		
留意点	期末試験(80点)、提出物と授業態度(20点)合計100点とする		

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容技術理論		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
松田 孝子			講義	62(2)
実務経験	実務経験内容			
有	美容室でスタイリストとしての経験を活かして、美容の基礎理論から実践的な知識を習得できるように指導する科目である			
指導目標				
美容師として必要な理論を学び、知識をつけ、国家試験合格をめざす				
評価方法				
期末試験、提出物と授業態度などから評価し、60点以上を合格とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	3章 ヘアデザイン	美容とデザイン	6	
	10章メイクアップ	メイクアップと色彩～まつげエクステンション		
5	2章、4章	シャンプーイング、ヘアカッティング	6	
	8章、9章	エステティック、ネイル		
6	5章、7章	パーマネントウェーブ、ヘアカラーリング	6	
		期末試験練習問題		
7	6章、7章	ヘアセッティング、ヘアカラーリング、期末試験解説	6	
8	4章	ヘアカッティング	2	
9	4章、6章、11章、12章	ヘアカッティング、ヘアセッティング、日本髪、着付	6	
10	6章、12章	ヘアセッティング、着付け	8	
11	7章、12章	ヘアカラーリング、着付け	6	
12	2章、8章	シャンプーイング、エステティック	4	
1	12章	着付け、国家試験対策	6	
		期末試験練習問題		
2		国家試験対策	6	
			62	
教科書	技術理論①②			
使用教材	授業プリント等・参考資料プリント・参考教材・美容機械等			
留意点	期末試験(90点)、提出物と授業態度(10点)合計100点とする			

教科名	対象学年	開講学期	区分
美容技術理論	1年	通年	必修
担当教員		授業方法	時間数(単位数)
松田 孝子		講義	93(3)
実務経験	実務経験内容		
有	美容室でスタイリストとしての経験を活かして、美容の基礎理論から指導し、実践的な知識を習得できるように指導する科目である		
指導目標			
美容の理論を理解して、適切な技術を行うことができるようにする			
評価方法			
期末試験、提出物と授業態度などから評価し、60点以上を合格とする			
授業計画			
月	単元名	指導内容	時数
4	序章 美容技術理論を学ぶ	1美容理論と技術 2作業姿勢 3人体各部名称	12
	1章 用具	1美容技術における用具 2コーム 3ブラシ 4シャワー	
	4章 ヘアカット	美容刃物	
5	1章 4章	5レザー	9
	5章	1パーネントウェーブの歴史と現在	
6	1章 5章	6ピン類・ヘアクリップ 7ロッド 8パーマネットウェーブの理論	12
	6章	ヘアセッティング、シェービング、パーティング、練習問題	
7	6章・8章	4ヘアカーリング 期末テスト解説 エステティック概論、皮膚の生理と構造	9
	9章	ネイル技術概論と種類	
8	10章	メイクアップ概論	2
9	1、6、9、10章	ローラー、ヘアウェビング、爪の構造と機能、メイクアップ 道具	9
10	1、2章	ヘアアイロン、ドライヤー、シャンプーイング総論、サイドシャンプー	11
	8、10章	エステカウンセリング、メイクアップと色彩	
11	1章、5章、10章	ヘアスチーマー、パーマネットウェーブ 技術、スキンケア～アイメイク	9
12	8章、10章	フェイシャルケア、リップ、ブラッシュオンメイクアップ	2
1	4章	ヘアカットの基礎理論	9
	9章、12章	ネイルケア、着付けの目的～着物のたたみ方	
2	5章、6章	期末テスト解説、バックコーミング、アップスタイル	9
	11章	日本髪の由来～結髪道具	
			93
教科書	美容技術理論①②、参考資料プリント		
使用教材	授業プリント、ビデオ、DVD、美容機器等		
留意点	期末試験(90点)、提出物と授業態度(10点) 合計100点とする		

教科名		対象学年	開講学期	区分
運営管理		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
宮口 秀和			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師としてサロンワーク従事後、美容商材の経営者としての経験を活かして、美容業に就職するうえの心構えや、自分が経営者となるための知識、お客様の大切さを理解させ指導する科目である。			
指導目標				
就職するうえでの心構え、自分で店をもつための知識、お客様の大切さ等を理解させる。国家試験合格を目指す				
評価方法				
期末試験、授業の出欠状況、授業受講の態度等から学期毎評価し、60点以上合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4	第1章 経営とは・経営者とは	経営が必要とされる理由 経営とは何か		2
	第1章 経営とは・経営者とは	経営資源と経営計画		
5	第2章 理容業・美容業の経営	理容・美容業界の現状 競争の変化		4
	第3章 資金の管理	資金管理とは コストを管理する		
6	第3章 資金の管理	収支と損益 会計の考え方		4
	第3章 資金の管理	コストを管理する 税金について		
7	第2編 人という資源	人の能力を高める		1
	第1章 人という資源	人をやる気にさせるために		
	第1章 人という資源	給与		
9	第1章 人という資源	福利厚生 労働者の権利		4
	第2章 健康・安全な職場環境	健康管理の基礎		
10	第2章 健康・安全な職場環境	理容・美容業の仕事と健康 健康問題		3
	第3章 従業員の視点から	社会人としての責任 社会保険		
11	第3章 従業員の視点から	社会保険 キャリアプラン		3
	第3編 顧客のために	サービス・デザイン		
12	第1章 サービス・デザイン	価値の実態 価値の多様性		4
1	第1章 サービス・デザイン	サービスの範囲		3
	第2章 マーケティング	マーケティング、マーケティング		
		マーケティングミックスの要因		
2	第2章 マーケティング	マーケティングミックスの要因		3
	第3章 サービスにおける人の役割	接客についての理解 接客の実践		
		国家試験対策		
		時数合計		31
教科書	運営管理			
使用教材				
留意点				

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 オールウェーブ		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
白石美和子			実習	100(※)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として勤務していたサロンワーク経験を活かして、ヘアセットのコームの持ち方、オールウェーブの作り方などを指導し、国家試験合格できるように技術の習得を指導する科目である			
指導目標				
ヘアセットの構成を理解し、国家試験課題構成が試験時間内にきれいにできるようになり、国家試験合格を目指す				
評価方法				
学期毎の期末試験と平常点(持ち物、授業態度、小テスト等)で60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第5章ヘアセットイング*	1年次復習	12	
5		メイポールカール、クロッキノールカール練習	9	
6		全頭仕上げ練習	12	
7		課題構成確認	9	
9		オールウェーブセッティング 30分	9	
10		オールウェーブセッティング 27分	12	
11		オールウェーブセッティング 26分	3	
12		国試対策	12	
1		国試対策	9	
2		国試対策	10	
3		ヘアセット	3	
			時数合計	100
教科書	技術理論1、実技試験課題集			
使用教材	オールウェーブ用具一式、			
留意点	積極的に自主練習を行うこと。			
(※)時間数(単位数)について補足	美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 オールウェーブ		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
高橋英里奈			実習	86(※)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として勤務しサロンワークを経験、ヘアセットのコームの持ち方、オールウェーブの作り方などを指導し、国家試験合格目指し、技術の習得を指導する科目である			
指導目標				
ウェーブの理論と技術を理解し身につける。				
評価方法				
学期毎のテスト、授業時の服装と持参品、取り組み方、出席状況等から評価。60点以上を合格とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	6章 ヘアセッティング	・実習用具の確認	9	
		・ヘアセッティングとは		
		・フィンガーウェーブのやり方		
5		・ノーパート7段構成(1～3段)	6	
6		・ノーパート7段構成(4～7段)	9	
7		・ヘアカーリング理論	9	
		・スカルプチュアカール作り方		
		・スカルプチュアカール(フロント)		
9		・スカルプチュアカール(3段目)	9	
10		・スカルプチュアカール(フロント+3段目)、	12	
11		・スカルプチュアカール(フロント+3段目)、	9	
12		・リフトカール4段目	9	
1		・リフトカール4, 5段目	7	
2		・リフトカール5段目	7	
			86	
教科書	技術理論1、実技課題集			
使用教材	オールウェーブ用具一式、			
留意点				
(※)時間数(単位数)について補足		美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる		

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 ワインディング		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
上澤 優紀			実習	100(※)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として従事していたサロンワークの経験を活かして、パーマネントウェーブ概論や技術を指導し、国家試験課題であるワインディング技術の習得と合格できるように指導する科目である。			
指導目標				
国家試験課題ワインディングに関する基本的な技能及び知識を習得し、国家試験合格を目指す ワインディングでのコンクール参加及び入賞を目指す				
評価方法				
期末試験、授業の出席状況、持参品、授業の受講態度などから評価し、60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	4章パーマネントウェーブ	ブロッキング確認	9	
5		国家試験スタイル19分 早巻き	12	
6		国家試験スタイル19分 早巻き	9	
7		国家試験スタイル20分	9	
8		国家試験スタイル20分	3	
9		両サイドの角度確認 各自の課題見つけていく	9	
10		左右対称確認 各自の課題見つけていく	9	
11		各自の課題見つけていく	9	
12		国試対策	12	
1		国試対策	10	
2		国試対策	9	
			時数合計	100
教科書	技術理論1、技術の解説			
使用教材	ワインディング用具一式			
留意点	自主練習を積極的に行う。			
(※)時間数(単位数)について補足	美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 ワインディング		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
上澤 優紀 峯 知世			実習	93(※)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として従事していたサロンワークの経験を活かして、パーマネントウェーブ概論や技術を指導し、国家試験課題であるワインディング技術の習得と合格できるように指導する科目である。			
指導目標				
国家試験課題ワインディングに関する基本的な技能及び知識を習得する ワインディングでのコンクール入賞と国家試験合格を目指す				
評価方法				
授業の出欠状況、取り組み方も含め、学期毎試験を行い60点以上合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	4章パーマネントウェーブ	使用道具の説明	9	
		コームの持ち方、動かし方		
		ロッドセッティング、ゴムの留め方		
		ワインディングのブロッキング		
		ロッドの巻き方（上巻き、下巻き）		
5		ワインディングのブロッキング	9	
		ロッドの巻き方（上巻き、下巻き）		
		全頭巻き方、角度		
6		復習、全頭完成50分	12	
7		全頭構成タイム30分目標	9	
9		ワインディングのブロッキング	12	
		全頭構成タイム短縮、きれい巻き		
		コンクール対策		
10		全頭構成タイム20分目標	12	
11		試験対策	3	
12		きれい巻きや、細かいテクニックの確認	12	
1		校内コンクール対策	9	
2		全頭20分 国家課題に向けて	6	
			時数合計	93
教科書	技術理論1、技術の解説			
使用教材	ワインディング用具一式			
留意点	自主練習を積極的に行う。			
(※)時間数(単位数)について補足	美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 ネイル		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
上澤 優紀			実習	55(※)
実務経験	62			
有	美容師として従事していたサロンワークの経験を活かして、ネイルの知識の習得と技術を指導し、ネイル検定3級取得合格できるように指導する科目である。			
指導目標				
ネイルケア、ネイルアートに関する基本的な技術及び知識を習得し、ネイリスト技能検定3級取得を目指す				
評価方法				
試験、授業の出席状況、持参品、授業の受講態度などから評価し、60点以上合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	8章 ネイル技術	実習用具の確認、ネイル技術理論	6	
		ネイル技術の種類、爪の構造と機能		
		爪のカット形状、テーブルセッティング		
5		ネイルアートの基礎知識	4	
		フェスティバル展示作品制作		
		復習		
6		ポリッシュ類塗り方	6	
		ネイルケア		
7		爪の病気、ネイルケア	6	
8		復習、ネイルケア	2	
9		3級検定対策	6	
		検定の手順		
10		3級検定対策	7	
11		3級検定対策	6	
		模擬試験		
12		3級検定対策	8	
1		3級検定対策	4	
			時数合計	55
教科書	JNAテクニカルシステムベーシック、技術理論2			
使用教材	ネイル用具一式			
留意点	相モデルでの授業有			
(※)時間数(単位数)について補足	美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 メイクアップ		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
松田 孝子			実習	62(※)
実務経験	実務経験内容			
有	10年以上従事していたサロンワークでメイクの実務経験有り。基礎的な技術からナチュラルメイク、ステージメイクなど様々なメイクの知識・技術を習得できるように指導する科目である			
指導目標				
美容師として必要なメイクアップの知識と技術を身につけ、全美連メイクアップ検定2級取得をめざす及び美容師試験合格をめざす				
評価方法				
期末試験、提出物、授業態度などから評価し60点以上を合格とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	10章メイクアップ	多色ベース、アイラッシュ、心構え、道具の説明	6	
		男性メイク・舞台メイク		
5		フェスティバルメイク、和装メイク、顔のプロポーション	4	
6		スキンケア～ベース、アイメイク、筆記練習問題	8	
7		” ”、目、眉	4	
8		” ”、唇	2	
9		” ”、プライダル、加齢とメイク	6	
10		” ”、色彩とイメージメイク	8	
		検定対策		
11		メイク検定対策	4	
12		国家試験対策	6	
1		国家試験対策	8	
2		国家試験対策	6	
			62	
教科書	技術理論2、メイクテキスト			
使用教材	化粧道具一式、化粧品類等			
留意点	試験(80点)、提出物、持参品、衛生面、授業態度(計20点)合計100点とする			
(※)時間数(単位数)について補足	美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 メイクアップ		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
松田 孝子 高橋英里奈 峯 知世			実習	62(※)
実務経験	実務経験内容			
有	10年以上従事していたサロンワークでメイクの実務経験有り。基礎的な技術からナチュラルメイク、ステージメイクなど様々なメイクの知識・技術を習得できるように指導する科目である			
指導目標				
美容師として必要なメイクアップの基礎を学び知識と技術を身につける				
評価方法				
期末試験・提出物、授業態度などから評価し、60点以上を合格とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	10章	メイクアップ 概論・用具類説明・セッティング・保管・顔のプロポーション	6	
	メイクアップ	骨格と筋肉・身だしなみ・姿勢・気配り		
5	10章	スキンケアの実際(拭き取り・オイル塗布)説明、Wと自分実技	6	
		拭き取り・フェースプロポーション		
6	10章	スキンケアの実際(トーンング)・期末練習問題	8	
		オイル塗布・水化粧の実際		
		ベースメイクの実際(ファンデーション)		
7	10章	トーンング	8	
		スキンケアとベースメイク化粧品類		
8	10章	ポイントメイクの実際(アイブロウ)	2	
		アイブロウ(眉毛カット)とアイメイクについて		
9	10章	ポイントメイクの実際(アイメイクとアイブロウ)説明	4	
		期末練習問題・ベースメイク・ファンデーションとパウダリング		
10	10章	ポイントメイク(リップメイク・ブラッシュオン)	8	
		ポイントメイク(アーチ眉・アイメイク・リップ)		
11	10章	面取りの実際 面取りテスト	4	
12	10章	リップ・ブラッシュオンについて	4	
1	10章	ポイント(リップメイク角・ブラッシュオンリゾット)	6	
		ポイントテスト(リップ角・ブラッシュソリッド)		
2	10章	ベースメイクアップ仕上げ	6	
			62	
教科書	技術理論2・SBSメイクテキスト			
使用教材	メイク道具一式			
留意点				
(※)時間数(単位数)について補足	美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 ヘアカット		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
清名 直子			実習	93(※)
実務経験	実務経験内容			
有	美容室でスタイリストの実務経験を活かしてヘアカット等のシザーズの持ち方、姿勢、基本的カットなどから指導し、国家試験課題のカットスタイルを合格できるよう指導する科目である			
指導目標				
サロンワークに必要な基礎的技術を習得する。国家試験合格をめざす。				
評価方法				
学期毎の期末テスト及び持参品、受講態度などから評価。60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第4章ヘアカット	1年時復習 正確なパネルの引き出し方 ブラントカット ワンレングス	9	
5		レイヤーカット グラデーション	12	
6		ストロークカット ポインティングカット スライシング	12	
7		セニングカット レザーカット テーパーカット	6	
9		ベーシックスタイルの創作	9	
10		実技試験に向けて 課題の解説	12	
11		国家試験対策 第1課題	9	
12		国家試験対策 第1課題	9	
1		国家試験対策 第1課題	9	
2		サロンスタイル 創作スタイル	3	
3		サロンスタイル 創作スタイル	3	
		時数合計	93	
教科書	美容技術理論1			
使用教材	シザーズ・レザーの道具一式			
留意点	授業の出欠状況、取り組み方も評価に含む。自主練習を積極的に行う。			
(※)時間数(単位数)について補足	美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 ヘアカット		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
清名 直子			実習	93(※)
実務経験	実務経験内容			
有	美容室でスタイリストの実務経験を活かしてヘアカット等のシザーズの持ち方、姿勢、基本的カットなどから指導し、国家試験課題のカットスタイルを合格できるよう指導する科目である			
指導目標				
用具の正しい扱い方から、ベーシックなカット技法までを習得する				
評価方法				
学期毎のテスト、受講態度、持参品などから評価し、60点以上を合格とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	ヘアカット	用具の取り扱い方	9	
5	ヘアカット	ワンレングス(まっすぐ)	12	
6	ヘアカット	ワンレングス(前下がり)	9	
7	ヘアカット	ワンレングス(前上がり)	6	
8	ヘアカット	復習	3	
9	ヘアカット	グラデーション45度	9	
10	ヘアカット	グラデーション60度	9	
11	ヘアカット	セიმレングス(後ろ)	9	
12	ヘアカット	セიმレングス(前)	9	
1	ヘアカット	レイヤー(国試)	9	
2	ヘアカット	レイヤー(国試)	9	
			時数合計	93
教科書	技術理論1			
使用教材	カット用具一式			
留意点				
(※)時間数(単位数)について補足		美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる		

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
馬上薫			実習	124(※)
実務経験	実務経験内容			
有	従事していたサロンワークでの実務経験を活かして、シャンプーイング概論から技術まで習得できるよう指導する科目である			
指導目標				
サロンワークに必要な基礎的技術を身につける。フォトコンテスト				
評価方法				
授業の出欠状況、授業時の取り組み方、提出物、作品の完成度などから評価。60点以上を合格とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第2章 シャンプーイング	サイドシャンプーイング	16	
	第6章 ヘアセットイング	セットスタイル		
5	第2章 シャンプーイング	サイドシャンプーイング	16	
	第6章 ヘアセットイング	セットスタイル		
6	第7章 ヘアカラーリング	ブリーチ マニキュア サイドシャンプーイング	12	
7		ブリーチ マニキュア サイドシャンプーイング	14	
8		ブリーチ マニキュア バックシャンプーイング	12	
9		バックシャンプーイング		
10		セットスタイル バックシャンプーイング	16	
11		セットスタイル バックシャンプーイング	12	
12		国試対策 スカルプマッサージ	16	
1		国試対策 サイドシャンプーイング		
2		バックシャンプーイング ヘアトリートメント スカルプトリートメント	10	
3		スカルプトリートメント		
				124
教科書	美容技術理論1			
使用教材	タオル、ドライヤー、ブラシ類、アップ道具一式、カラー道具一式			
留意点	シャンプーの授業は相モデル実習。積極的に自主練を行う。			
(※)時間数(単位数)について補足	美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
馬上薫			実習	62(※)
実務経験	実務経験内容			
有	従事していたサロンワークでの実務経験を活かして、シャンプーイング概論から技術まで習得できるように指導する科目である			
指導目標				
サロンワークに必要な基礎的技術を身につけ、総合的な美容技術を身につける。				
評価方法				
授業の出欠状況、授業時の取り組み方、作品の完成度で評価し、60点以上合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4	第6章	道具の説明 ブラシの持ち方、動かし方		6
	ヘアセッティング	一束に結う ピンの開け方、留め方		
5		一束結び・カーリーロープ		6
		三つ編み、編み込み		
6		三つ編み、編み込みスタイル完成		6
7		アップスタイル 作品1		6
9		アップスタイル 作品1復習		8
10		アップスタイル 作品2		6
11		アップスタイル 作品3		4
12		アップスタイル 作品4		8
1		アップスタイル 作品5		8
2		アップスタイル 作品1～5復習		4
		校内大会		
			時数合計	62
教科書	美容技術理論1			
使用教材	ブラシ コーム ダッカール ピン類 すき毛 ゴム類			
留意点	積極的に自主練習を行う。			
(※)時間数(単位数)について補足	美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美術・デッサン		2年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
古川 久容			講義	48
実務経験	実務経験内容			
有	カラーコーディネイトスクールの講師経験を活かし、インテリアカラーの配色の基本と、スタイル画の基本の理解、インテリアの色彩までを習得させ、検定合格を目指すための科目である。			
指導目標				
コンクールのヘアデザイン画部門で入選を目指し、ライフケアカラー3級合格を目指す				
評価方法				
授業態度、提出課題、期末テストなど学期毎評価し、60点以上合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4	ヘアスタイル画	コンテスト作品制作 デッサン		6
5	〃	コンテスト作品制作 デッサン		4
6	ヘアスタイル画、ライフケアカラー	〃 、検定対策		8
7	〃	〃		6
8	ヘアスタイル画	イメージスケール ヘアスタイル作成		2
9	色のイメージ	色が人に与える感情効果 テーマ別コラージュ		6
10	色の効果	配色の演習 ファッションカラー フードカラー		6
11	インテリアカラー	インテリアの配色の基本		6
	ライフケアカラー	安全と安心の色 ワーク		
12	絵画 工作	絵の具、パステル等		4
			時数合計	48
教科書	テキスト			
使用教材	デッサン用具、ケント紙、のり等			
留意点	2年間で124時間(4単位) となる			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容教養基礎1		2年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
石橋 正吉			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
無				
指導目標				
国家試験過去問題の演習により国家試験合格を目指す				
評価方法				
授業演習の獲得点、期末試験の他に、レポート提出等、総合的に判断。60点以上合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4	国家試験過去問題抜粋	国家試験各科目の演習と解説		4
5	国家試験過去問題抜粋	国家試験各科目の演習と解説		4
6	国家試験過去問題抜粋	国家試験各科目の演習と解説		3
7	国家試験過去問題抜粋	国家試験各科目の演習と解説		2
9	国家試験過去問題	国家試験過去問題の演習と解説		4
10	国家試験過去問題	国家試験過去問題の演習と解説		3
11	国家試験過去問題	国家試験過去問題の演習と解説		3
12	国家試験過去問題	国家試験過去問題の演習と解説		2
1	国家試験過去問題	国家試験過去問題の演習と解説		3
2	国家試験過去問題	国家試験過去問題の演習と解説		3
			時数合計	31
教科書	無			
使用教材	国家試験過去問題			
留意点	国家試験合格の知識の習得			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容教養基礎1		1年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
石橋 正吉			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
無				
指導目標				
業務に必要な数学の知識を得る				
評価方法				
期末試験の他に、レポート提出等、総合的に判断する。60点以上合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	数の計算	* 四則計算	3	
		計算の基本		
5	いろいろな単位	* 生活上必要な単位	3	
		重量、長さ、容量、速さ、		
6		時間の計算と給料	5	
7	損得勘定	* 消費税	3	
8		* 利益、損益の出し方	4	
9				
10	液体の濃度	* 濃度の計算	2	
11		* 体積濃度と重量濃度	3	
		* 希釈倍率からの濃度		
12		濃度問題抜粋)	2	
1		* 国家試験の濃度問題演習	2	
2	国家試験に向けて	* 国家試験の教科の説明	3	
3	その他	* 年間を通しての質問	1	
			時数合計	31
教科書	無			
使用教材	プリント			
留意点				

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容教養基礎2		2年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
宮口 秀和			講義及び演習	31(1)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師としてサロンワーク従事後、美容商材の経営者としての経験を活かして美容師としての社会性コミュニケーション能力の理解、習得、接遇の基本からきめ細やかな接遇の実践までをロールプレイによる実技で指導する科目である。			
指導目標				
SBS接遇検定2級合格を目指し、ホスピタリティに満ちた、きめ細やかな接遇の実践やロールプレイによる演習を行う。また履歴書、就職面接による自己表現、事例に合わせたロールプレイなども行い、習得する。国家試験対策も行う				
評価方法				
期末試験 授業の出欠状況 美容室接遇の共通スキル演習などから学期毎評価し、60点以上合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4	本試験対策1	事例1 歓迎と伝達 お客様対応		3
5		事例2 お客様対応		3
6		事例3 上司との対話		4
7		事例4 お客様対応		2
	本試験対策2	事例5 上司との対話		
9		事例6 先輩との対話		5
		事例7 仲間との対話		
10	検定試験2級	検定試験2級		3
11		国家試験対策		2
12		国家試験対策		4
1		国家試験対策		3
2		国家試験対策		2
		時数合計		31
教科書	接遇テキスト			
使用教材				
留意点				

教科名	対象学年	開講学期	区分
美容教養基礎2	1年	通年	選択
担当教員		授業方法	時間数(単位数)
宮口 秀和		講義及び演習	31(1)
実務経験	実務経験内容		
有	美容師としてサロンワーク従事後、美容商材の経営者としての経験を活かして美容師としての社会性コミュニケーション能力の理解、習得、接遇の基本からきめ細やかな接遇の実践までをロールプレイによる実技で指導する科目である。		
指導目標			
SBS接遇検定3級を取得し、2級内容の美容師としての社会性、コミュニケーション能力の理解と習得、接遇技術の基本習得、美容室の業務全体のロールプレイを行いながら検定合格に向けてに習得する			
評価方法			
期末試験 授業の出欠状況 美容室接遇の共通スキル演習などから学期毎評価し、60点以上合格とする。			
授業計画			
月	単元名	指導内容	時数
4	学校内のマナー	美容師としての夢と接遇・マナー	3
		美容学校とはなにをすところ	
	学校内のマナー	まわりの人への接し方 ルールを守る	
		学校内の各部屋でのマナー 身だしなみ・表情	
5	美容室接遇の共通スキル	立ち方 歩き方 おじぎの仕方	3
6	美容室接遇の共通スキル	立ち方 歩き方 おじぎの仕方	4
	美容室接遇の共通スキル	立ち方 歩き方 おじぎの仕方	
	美容室接遇の共通スキル	発声 話の聴き方 話の仕方	
	美容室接遇の共通スキル	言葉づかい あいさつ	
7	美容室での業務の流れ	自分を表現する 予約～お迎え 受付	2
	美容室での業務の流れ	予約～お迎え 受付 施術～お会計・お見送り	
8	3級検定試験	3級検定試験	
9	接遇・マナーを学ぶ前に	接遇2級 美容師という職業の魅力	5
		なぜ美容サロンで接遇・、マナーが必要なのか	
10	履歴書による自己表現	就職面接のポイント	4
11	履歴書による自己表現	2級コミュニケーション パーバル 履歴書作成	3
12	履歴書による自己表現	就職面接での自己表現	2
1	本試験対策	事例1 歓迎と伝達 お客様対応	3
2	本試験対策	事例2 お客様対応	2
			31
教科書	接遇教本		
使用教材			
留意点			

教科名		対象学年	開講学期	区分
栄養理論		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
鈴木 直子			講義	62(2)
実務経験	実務経験内容			
有	薬剤師として 服薬指導をし 健康について総合的に患者の相談に応じアドバイスをしている			
指導目標				
美を追求する美容師として 皮膚や毛をはじめとする皮膚付属器官の栄養は食物から摂取することの大切さを認識させ 健康や美を保つための栄養素やライフスタイルについての基本を理解させる。				
評価方法				
期末試験、提出物の内容等から学期毎評価し、60点以上を合格とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第6章 体のリズム	体のリズム 睡眠のメカニズム 練習問題	6	
		栄養学の歴史 練習問題		
5	第1章 食生活と健康	炭水化物 糖質と食物繊維 練習問題	6	
		脂質 トリグリセリドと脂肪酸		
		コレステロール 練習問題		
6		タンパク質とアミノ酸	8	
		アミノ酸スコア 練習問題		
		期末テスト対策 期末テスト		
7		消化の仕組み 消化吸収後の行方	6	
		エネルギー代謝		
9		ビタミン 脂溶性ビタミン	8	
10		ビタミン 水溶性ビタミン	8	
		ミネラルについて①		
11		テスト対策 期末テスト	4	
		水について		
		アルコールについて		
12		たばこの害について	6	
		アルコールについて		
		免疫力を高める・ストレスに負けない食の科学		
1	第4章 ライフスタイル	基礎代謝	6	
	第7章 食生活と安全確保	食品の安全を考える 期末テスト対策		
2		皮膚と栄養について 期末テスト	4	
		時数合計	62	
教科書	(株)化学同人 発行 『食生活と健康づくり』			
使用教材	各章ごとに制作したワークシートと練習問題 東京法令出版(株) 発行 新食品成分表			
留意点	各項目ごとに、より深く理解してもらうために、練習問題を実施する			

教科名	対象学年	開講学期	区分
エステティック・着付	1年	通年	選択
担当教員		授業方法	時間数(単位数)
清名直子 白石美和子		講義及び実習	62(2)
実務経験	実務経験内容		
有	従事していたサロンでフェイシャルエステ、着付けの経験があり、基礎知識、技術の習得をさせる。 また検定3級取得を目指し指導する科目である		
指導目標			
検定3級取得に向けて基礎から仕上げまでできるようにする			
評価方法			
学期毎試験を行う。授業の出席状況、受講態度などから評価し、60点以上を合格とする。			
授業計画			
月	単元名	指導内容	時数
4	エステティック・着付け 概論	セッティングの仕方スポンジでのふき取り手順確認 準備、人台へ肌襦袢、補整の手順	6
5	消毒・浴衣の着付け	ポイントクレンジング・ハンドクレンジング手順確認 浴衣着付け	8
6	皮膚の生理と構造・ 着付検定対策	ハンドクレンジング手順確認・クレンジング実習 着付け検定対策	6
7	フェイシャルパック 着付検定対策	クレンジング～マスクの塗布手順確認実習 着付け検定対策	6
8	マッサージ理論・着付け	マッサージ手順確認 クレンジングからマッサージまで	2
9		長襦袢着付け	6
10	カウンセリング・着付け	マッサージ手順確認 クレンジングからマッサージまで 留袖着付け	6
11	検定に向けて・着付け	検定に向けて通して実習、留袖着付け	6
12	検定に向けて・着付け	検定に向けて通して実習、留袖着付け	4
1	フェイシャルケア技術・ 着付け	検定に向けて通して実習	6
		振袖着付け	
2	フェイシャルケア技術・ 着付け	全体を通して実習・機械を使って実習 袴着付け	6
		時数合計	62
教科書	美容技術理論2・検定3級用のテキスト		
使用教材	エステティックの道具一式、着付け用具一式		
留意点	エステは各々の肌の状態により、相モデルが出来ない場合がある		

教科名		対象学年	開講学期	区分
総合技術		1年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
馬上 薫			講義及び実習	62(2)
実務経験	実務経験内容			
有	従事していたサロンワークの経験を活かして、着物概論・浴衣・留袖などの技術の習得、アップスタイルの基本的な技術、毛髪の概論など幅広く美容について学ぶ科目である			
指導目標				
シャンプー技術の習得を目指す。毛髪について学び、ヘアケアマイスター検定プライマリー合格を目指す。福祉美容について学び検定合格を目指す。				
評価方法				
検定結果、授業の取り組み姿勢などから学期毎評価し、60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4	2章 シャンプーイング	総論と実技		6
		サイドシャンプー		
5		サイドシャンプー		6
6		サイドシャンプー		10
7		サイドシャンプー		6
8	ヘアケアマイスター	プライマリー検定対策		2
9		プライマリー検定対策		6
10		プライマリー検定対策		4
11	福祉美容	概論		6
12		福祉美容		4
1		福祉美容		4
2		福祉美容		6
3		福祉美容		2
			時数合計	62
教科書	技術理論1、ヘアケアマイスターテキスト、福祉美容テキスト			
使用教材	タオル、ドライヤー			
留意点	持ち物は必ず持ってくる			

教科名		対象学年	開講学期	区分
総合 選択A ヘアメイクコース		2年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
馬上薫			実習	124(4)
実務経験	実務経験内容			
有	従事していたサロンワークの経験を活かして、ヘアカラーリングやアップスタイル技術を習得し、コンクール入賞を目指すために指導する科目である			
指導目標				
サロンワークに必要な基礎的技術を身につける。 フォトコンテストの入賞を目指す。国家試験合格を目指す				
評価方法				
授業の出欠状況、授業時の取り組み方等で学期毎評価し、60点以上合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4	第6章	アップスタイル	ピンニング	12
	ヘアセッティング	みつあみ	あみこみ	
5		フォトコン制作		14
		ヘアブリーチ		
6		カット	マニキュア	10
7		アイロン		8
8		カラーリング		4
9		フォトコン作品完成	写真撮影	14
		コーンロー		
		エクステンション		
10		ブロードライ	ワンレングス	10
		ハーフラウンドブラシ	ロールブラシ	
11		スカルプトリートメント(クリームバス)		14
		国試対策		
12		国試対策		12
1		国試対策		12
2		国試対策		12
3		国試対策		2
			時数合計	124
教科書				
使用教材	美容用具一式、ブラシ ドライヤー ヘアアイロン セット・カット・カラー道具一式 ブリーチ剤 カラー剤			
留意点	放課後に作品作り、写真撮影等があります			

教科名		対象学年	開講学期	区分
総合 選択 B ネイルコース		2年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
高橋英里奈 峯 知世 清名直子			実習	124(4)
実務経験	実務経験内容			
有	サロンワーク勤務での経験を活かし、ネイル検定2級取得を目指し、理論・技術の習得を指導する科目である。			
指導目標				
ネイル検定2級取得を目指しながら、サロンワークに通用するネイルケア、リペア、チップ&ラップ、ネイルアートに関する技能や知識を習得する。国家試験合格を目指す。				
評価方法				
授業の出欠状況、取り組み方、作品の仕上がりなどから学期毎評価し、60点以上合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	ネイル	道具、用材類説明	12	
		チップラップ手順		
		検定説明		
5		チップラップ手順	14	
6		チップラップ・クリーンナップ(復習)	10	
7		ファイリング・クリーンナップ	8	
8		チップラップ・カラーリング・アート	4	
9		ネイリスト検定2級対策(通し練習)	14	
10		ネイリスト検定2級対策(通し練習)	10	
11		国家試験対策	14	
12		国家試験対策	12	
1		国家試験対策	12	
2		国家試験対策	12	
3		国家試験対策	2	
			時数合計	124
教科書	JNAテクニカルシステムベーシック			
使用教材	ネイル用具一式、美容用具一式			
留意点	相モデルでの授業があります			

教科名		対象学年	開講学期	区分
総合 選択C ブライダルコース		2年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
白石美和子			実習	124(4)
実務経験	実務経験内容			
有	従事していたサロンワークには、婚礼着付けや着付け、メイクの仕事があり、その経験を活かして和装、洋装メイクの実践的な技術の習得を指導する科目である			
指導目標				
ブライダルの美容業務や、サロン業務にあるヘアセット・着付け・メイクなどトータルで実習し技術を習得する。また、SBS着付け検定2級合格を目指す。国家試験合格を目指す。				
評価方法				
学期毎授業での作品の出来映え、出席状況、授業態度など総合的に評価で60点以上合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	着付け技術	振袖着付け・メイク・ヘアセット(相モデル)	12	
5		振袖着付け・メイク・ヘアセット(相モデル)	14	
		洋装花嫁・メイク・ヘアセット(相モデル)		
6		洋装花嫁・メイク・ヘアセット(相モデル)	10	
7		洋装花嫁・メイク・ヘアセット(相モデル)	8	
8		スタイル別ヘアセット・メイク(相モデル)	4	
9		和装花嫁・メイク・ヘアセット(相モデル)	14	
10		和装花嫁・メイク・ヘアセット(相モデル)	10	
11		SBS着付け2級検定試験	14	
		試験対策		
12		試験対策	12	
1		試験対策	12	
2		試験対策	12	
3		試験対策	2	
			時数合計	124
教科書	技術理論2			
使用教材	タオル、足袋、メイク用具、ヘアセット用具等,美容用具一式			
留意点	相モデルなので必ずモデルと技術者の両方をやります。水化粧(首、襟足含)有			

教科名	対象学年	開講学期	区分
総合 選択D エステティックコース	2年	通年	選択
担当教員		授業方法	時間数(単位数)
上澤 優紀		講義及び実習	124(4)
実務経験	実務経験内容		
有	サロンでフェイシャルエステの経験があり、エステ技術や理論を指導し、エステ検定2級合格できるように指導する科目である。		
指導目標			
S B S 検定2級取得を目指す、国家試験合格をめざす。			
評価方法			
試験、授業の出席状況、持参品、授業の受講態度などから評価し、60点以上合格とする。			
授業計画			
月	単元名	指導内容	時数
4	エステティック	道具、用材類の説明 脱毛	12
		エステティック概論、機器概論	
		クレンジング	
5		健康な皮膚の条件、肌分析 脱毛	14
		マッサージ概論	
		ハンドトリートメント、マスク	
6		検定対策(通し練習) 脱毛	10
7		検定対策(通し練習) 脱毛	8
8		検定対策(通し練習) 脱毛	4
9		検定対策(通し練習) 脱毛	14
10		機器 脱毛	10
11		機器 脱毛	14
		試験対策	
12		国家試験対策	12
1		国家試験対策	12
2		国家試験対策	12
3		国家試験対策	2
		時数合計	124
教科書	テキスト		
使用教材	エステ用品一式、美容用具一式		
留意点	相モデルでの授業		

教科名		対象学年	開講学期	区分
総合 選択E アイラッシュコース		2年	通年	選択
担当教員			授業方法	単位数(時間数)
高橋英里奈			実習	124(4)
実務経験	実務経験内容			
有	まつげエクステンションメーカーに講師として従事していた経験を活かして、まつげエクステンションの知識・技術の習得を指導する。サロンワーク勤務での経験を生かし、資格取得を目指し理論、技術の習得を指導する科目である。			
指導目標				
まつげエクステンションに関する基本的な技能及び知識を習得する。 ABE アイラッシュエクステンションアシスタントディレクター資格取得をめざす				
評価方法				
作品の仕上がり、授業の出席状況や意欲、態度などから評価し、60点以上を合格とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	まつげエクステンション	まつげエクステンション概論	12	
		まつげエクステンションの用具		
		衛生管理		
		保健		
5		カウンセリング	14	
		事前準備		
		エクステンションの装着		
6		エクステンションのリムービング	10	
		学生技術大会練習		
7		学生技術大会練習	8	
8		エクステンションの装着 (タイム短縮)	4	
9		検定対策	14	
10		エクステンションの装着 (タイム短縮)	10	
		まとめ ・ 検定受験		
11		国家試験対策	14	
12		国家試験対策	12	
1		国家試験対策	12	
2		国家試験対策	12	
3		国家試験対策	2	
			124	
教科書	まつげエクステンション教科書			
使用教材	まつげエクステンション用具一式			
留意点				

教科名		対象学年	開講学期	区分
選択S		2年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
清名直子 高橋英里奈			実習	62(2)
実務経験	実務経験内容			
有	サロンワーク時代のコンクール出場経験を活かし、様々なコンクールで入賞できるように指導する科目である。			
指導目標				
各コンクールで入賞をめざす。様々なセットや薬剤実習ができるようにすることや、国家試験に合格できるように技術の習得をめざす				
評価方法				
授業の出席状況、受講態度、持参品などから評価し、60点以上合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4		編み込み、アップスタイル、ステージメイク		4
5		編み込み、アップスタイル、ステージメイク		6
		ワインディングコンクール対策		6
7		コンクール、フォトコン対策		6
9		パーマ薬剤実習		8
10		薬剤実習、試験対策		8
11		試験対策		4
12		試験対策		6
1		試験対策		8
2		試験対策		4
3		薬剤実習		2
			時数合計	62
教科書	技術理論1, 2			
使用教材	美容用具一式			
留意点	積極的に自主練習を行う。授業時の取り組み姿勢も評価に含む			